

第7回 研究者と実務者による国際協力勉強会 (JICA 大阪・民博・阪大 GLOCOL セミナー)

国際協力を効果的に進めていくためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が必要です。本勉強会を通じて、研究者は実務の現場を知り、自身の研究の実践的価値を検討することが可能です。実務者は日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に対するヒントを見つけられるかもしれません。

また国際協力／研究に関心のある方ならどなたでも、本勉強会にご参加ください。国際協力／研究の「現場」に触れられます。開発研究・地域研究・人類学に興味のある方、NGO スタッフ・コンサルタント・ボランティアとして国際協力に関わっている方など、多方面からのご参加をお待ちしています。

【日時】 2008年11月28日(金)18:30～20:30

【場所】 JICA 大阪(茨木市)

【プログラム】

18:30-18:40 開会

18:40-19:20 <報告>

嫁とフィールドワーカーのはざま—インド村落調査での葛藤と苦悩

フィールドワークは一人で行うかチームで行うかで手法や戦略が異なります。本発表では、インドの農村で日本人の夫婦が調査した際に直面した葛藤や苦悩についてお話しします。

19:20-20:30 コメントとディスカッション

20:30 閉会

21:00 懇談会(希望者のみ JR 茨木駅周辺)

<報告者> 常田夕美子

大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任助教。インド・オリッサ州の都市中間層および農村の女性の生活世界に関する人類学的調査を行っている。

<コメンテーター> 酒井利文

JICA大阪所長。通算8年弱・2度に渡り JICA インド事務所勤務。インド官僚やわが国お上とのハードネゴで疲れ、現在隠居中。

【アクセス】 JR 茨木駅・大阪モノレール阪大病院前駅から無料シャトルバスあり。

所在地及びシャトルバス時刻表・乗り場は JICA 大阪 HP(<http://www.jica.go.jp/osaka/>)をご覧ください。

【申込み】 参加申込と件名に記入し、①氏名、所属、電子メールアドレス、②懇親会参加の有無を jicaminseminar@yahoo.co.jp (担当:川崎)まで電子メールでお送り下さい(11月27日(木)〆切)。

勉強会事務局	国立民族学博物館・先端人類科学研究部 〒567-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 TEL:06-6878-8314/8275 担当者:鈴木 紀・白川千尋
勉強会会場および当日の連絡先	独立行政法人 国際協力機構(JICA)大阪国際センター 〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25番1号 TEL:072-641-6903 担当者:難波幸子・野田樹

*本勉強会は JICA 大阪・国立民族学博物館(みんぱく)・大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)が共同で運営しています。